



た。全10回という濃密なプログラムで、リモート受講の環境もあり、遠方の北海道からでも全ての講義に参加することができました。省エネ補助金という別なプログラムで、幅広い知識と視点を学びながら、単なる知識の習得ではなく、経済活動が密接に結びついていて、あらう機会になりました。単に流行や一過性のも

また、普段の自組織の活動では関わる機会が少ない他産別の方々と交流できたことも、大変貴重な経験でした。異なる業種・業態であっても、組合活動の中で直面する課題や悩みには共通する部分も多く、意見交換を通じて視野が広がったことは大きな収穫です。

白らの視座を引き上げる機会に

講義内容は多岐にわたり、生産性運動や労働組合の役割といった普遍的なテーマから、会社の財務諸表などのデータに基づいた論理的な分析と戦略への活かし方、他産別の動向

今回の受講で得た学びや刺激を、学んだだけで終わらせず、行動に移すことで初めて本当の意味での「学び」になると考えています。これからも社会

特に印象深かったのは、日本産業に求められているGX戦略です。政府が推進するSDGsの流れの中で、企業もカーボンニュートラルに向けたCO₂削減に取り組みつつ、

改めましてこのような機会を与えていただきました全労生・日本生産性本部の皆様、また講義に関わっていた講師の皆様と一緒に受講された皆様、大変ありがとうございました。